

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成29年11月10日

**【四半期会計期間】** 第69期第2四半期(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

**【会社名】** 株式会社フジマック

**【英訳名】** FUJIMAK CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 熊谷 俊範

**【本店の所在の場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岩崎 正明

**【最寄りの連絡場所】** 東京都港区新橋五丁目14番5号

**【電話番号】** 03 - 3434 - 7791

**【事務連絡者氏名】** 経理部次長 岩崎 正明

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第2四半期 連結累計期間	第69期 第2四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (千円)	17,408,665	17,244,340	36,094,338
経常利益 (千円)	674,718	1,210,170	2,270,706
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	449,159	840,499	1,502,887
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	224,351	1,033,454	1,490,033
純資産額 (千円)	13,759,152	15,894,116	15,024,685
総資産額 (千円)	30,521,046	33,435,699	32,622,998
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	68.54	128.26	229.33
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	45.1	47.5	46.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	710,616	1,455,597	1,407,176
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,156,862	835,449	1,218,226
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	573,079	22,305	585,273
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	7,186,585	8,481,864	7,836,941

回次	第68期 第2四半期 連結会計期間	第69期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	39.82	96.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益、雇用情勢が依然として底堅く、緩やかな回復基調を維持し、第1四半期連結累計期間において前年比マイナスであった機械受注をはじめとする設備投資も上向き、全体として堅調に推移いたしました。

世界経済は、米国が金融、資本市場が安定し、製造業、非製造業とも引き続き順調に推移いたしました。欧州経済は各国が夫々政策不安を抱え、非製造業が必ずしも振るわず、成長が鈍化していることは否めない状況で推移し、中国経済は住宅市場と過剰設備の調整圧力が重荷となっている中、過剰債務問題もあり、先行きの不安を依然払拭できない状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、外食産業、ホテル・旅館等宿泊施設、レストラン業界、レジャー産業、病院、福祉施設、教育施設、さらにはセントラルキッチン、食品工場などの各マーケットにおける多種多様なニーズ、夫々のお客様ごとのご要望に適確にお応えすべく、生産、物流、設計、施工、営業、サービスの一貫体制を強化してまいりました。

こうしたことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は172億4千4百万円（前年同期比0.9%減）となりました。利益面につきましては、経常利益は12億1千万円（前年同期比79.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億4千万円（前年同期比87.1%増）となりました。

なお、当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであります。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、現預金・棚卸資産・無形固定資産の増加、売上債権の減少等の結果、前連結会計年度末比8億1千2百万円増の334億3千5百万円となりました。負債につきましては、仕入債務の減少、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末比5千6百万円減の175億4千1百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比8億6千9百万円増の158億9千4百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6億4千4百万円増加し、84億8千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は14億5千5百万円（前年同期は7億1千万円の獲得）となりました。

これは主に、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億3千5百万円（前年同期は11億5千6百万円の使用）となりました。

これは主に、固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は2千2百万円（前年同期は5億7千3百万円の使用）となりました。

これは、長期借入金による収入および配当金の支払によるものです。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億2千2百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(7) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社又は提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(8) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績に著しい変動はありません。

(9) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画に著しい変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,136,000	7,136,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数100株
計	7,136,000	7,136,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日		7,136,000		1,471,150		1,148,365

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ノヴァックス	東京都港区高輪 1丁目27-37-1805	2,238	31.37
株式会社フジマック	東京都港区新橋 5丁目14-5	582	8.17
熊谷俊範	東京都品川区	520	7.29
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内 2丁目7-1)	410	5.75
フジマック従業員持株会	東京都港区新橋 5丁目14-5	401	5.63
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内 1丁目1-2	215	3.01
熊谷俊茂	東京都目黒区	212	2.98
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町 1丁目5-5	190	2.66
常盤ステンレス工業株式会社	大阪府大阪市平野区加美北 4丁目6-56	128	1.80
株式会社テーオーシー	東京都品川区西五反田 7丁目22-17	86	1.21
計	-	4,984	69.85

(注) 平成29年6月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、エフエムアール エルエルシー (FMR LLC) が平成29年6月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
エフエムアール エルエル シー (FMR LLC)	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	373	5.23

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 582,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,551,300	65,513	
単元未満株式	普通株式 2,000		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	7,136,000		
総株主の議決権		65,513	

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社フジマック	東京都港区新橋 五丁目14番5号	582,700		582,700	8.17
計		582,700		582,700	8.17

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,188,755	9,078,402
受取手形及び売掛金	7,715,419	6,818,483
商品及び製品	2,402,160	3,113,735
仕掛品	66,925	69,873
原材料及び貯蔵品	1,161,481	1,129,025
その他	980,252	684,413
貸倒引当金	6,430	7,312
流動資産合計	20,508,564	20,886,622
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,284,306	5,481,421
減価償却累計額	2,166,128	2,271,295
建物及び構築物（純額）	3,118,177	3,210,125
機械装置及び運搬具	4,130,878	4,233,714
減価償却累計額	3,013,912	3,059,902
機械装置及び運搬具（純額）	1,116,966	1,173,812
土地	3,993,344	4,023,389
その他	1,841,323	1,747,300
減価償却累計額	1,448,378	1,491,368
その他（純額）	392,944	255,931
有形固定資産合計	8,621,433	8,663,258
無形固定資産	143,078	304,098
投資その他の資産		
投資有価証券	1,741,634	1,971,677
その他	1,704,807	1,708,121
貸倒引当金	96,519	98,078
投資その他の資産合計	3,349,922	3,581,719
固定資産合計	12,114,434	12,549,077
資産合計	32,622,998	33,435,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	8,753,919	8,681,822
1年内返済予定の長期借入金	782,344	792,449
未払法人税等	388,537	388,685
賞与引当金	448,826	369,217
役員賞与引当金	37,718	26,024
製品保証引当金	84,200	82,200
その他	1,575,505	1,447,733
流動負債合計	12,071,050	11,788,133
<b>固定負債</b>		
社債	1,000,000	1,000,000
長期借入金	2,825,638	3,001,860
退職給付に係る負債	125,278	118,061
その他	1,576,346	1,633,528
固定負債合計	5,527,262	5,753,450
負債合計	17,598,313	17,541,583
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,471,150	1,471,150
資本剰余金	1,148,365	1,148,365
利益剰余金	10,241,167	10,917,833
自己株式	441,523	441,712
株主資本合計	12,419,160	13,095,636
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	745,246	896,223
土地再評価差額金	1,727,717	1,727,717
為替換算調整勘定	132,561	174,538
その他の包括利益累計額合計	2,605,524	2,798,479
純資産合計	15,024,685	15,894,116
負債純資産合計	32,622,998	33,435,699

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	17,408,665	17,244,340
売上原価	11,802,715	11,265,831
売上総利益	5,605,950	5,978,508
販売費及び一般管理費	4,855,433	4,838,236
営業利益	750,516	1,140,271
営業外収益		
受取利息	1,804	2,095
受取配当金	16,043	15,931
受取手数料	18,911	10,908
受取賃貸料	19,246	18,845
為替差益	-	24,421
その他	14,002	24,427
営業外収益合計	70,008	96,628
営業外費用		
支払利息	27,115	19,336
為替差損	113,278	-
その他	5,413	7,394
営業外費用合計	145,807	26,730
経常利益	674,718	1,210,170
特別利益		
固定資産売却益	750	398
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	89,939	-
その他	0	53
特別利益合計	90,691	452
特別損失		
固定資産除却損	434	740
固定資産売却損	50	4,261
その他	-	0
特別損失合計	484	5,002
税金等調整前四半期純利益	764,925	1,205,619
法人税、住民税及び事業税	250,188	307,221
法人税等調整額	65,576	57,899
法人税等合計	315,765	365,120
四半期純利益	449,159	840,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	449,159	840,499

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	449,159	840,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,966	150,977
為替換算調整勘定	138,842	41,977
その他の包括利益合計	224,808	192,954
四半期包括利益	224,351	1,033,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,351	1,033,454
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	764,925	1,205,619
減価償却費	309,070	301,113
受取利息及び受取配当金	17,848	18,026
支払利息	27,115	19,336
固定資産除売却損益(は益)	265	4,603
売上債権の増減額(は増加)	1,676,844	1,118,275
たな卸資産の増減額(は増加)	515,351	664,877
仕入債務の増減額(は減少)	1,914,962	29,008
その他	121,925	237,908
小計	1,238,305	1,757,144
利息及び配当金の受取額	14,762	13,899
利息の支払額	25,175	20,387
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	517,276	295,058
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>710,616</b>	<b>1,455,597</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	354,182	264,874
定期預金の払戻による収入	243,559	29,770
有形固定資産の取得による支出	1,027,759	377,912
無形固定資産の取得による支出	6,774	169,511
投資有価証券の取得による支出	3,967	21,632
非連結子会社に対する貸付けの回収による収入	-	700
貸付金の回収による収入	415	420
その他	8,153	32,409
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,156,862</b>	<b>835,449</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	442,009	413,672
自己株式の取得による支出	-	188
配当金の支払額	131,069	163,833
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>573,079</b>	<b>22,305</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	35,489	2,469
<b>現金及び現金同等物の増減額(は減少)</b>	<b>1,054,814</b>	<b>644,922</b>
現金及び現金同等物の期首残高	8,115,941	7,836,941
<b>連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)</b>	<b>125,458</b>	<b>-</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,186,585	8,481,864

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングの会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び債務のファクタリングを満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形	千円	39,615千円
支払手形及び買掛金	"	915,418 "
その他(設備関係支払手形)	"	15,119 "

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
給与手当	1,971,192千円	2,010,896千円
貸倒引当金繰入額	"	1,461 "
賞与引当金繰入額	392,723 "	306,507 "
役員賞与引当金繰入額	18,981 "	23,630 "
退職給付費用	120,942 "	122,432 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金	7,562,973千円	9,078,402千円
預入期間が3か月を超える定期預金	376,388 "	596,538 "
現金及び現金同等物	7,186,585千円	8,481,864千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	131,069	20	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	163,833	25	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、業務用厨房機器の製造・販売及び保守修理であり、単一のセグメントであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	68円54銭	128円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	449,159	840,499
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に 帰属する四半期純利益金額(千円)	449,159	840,499
普通株式の期中平均株式数(株)	6,553,490	6,553,304

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月8日

株式会社フジマック  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 野 英 樹 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渡 辺 雅 子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フジマックの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フジマック及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。